

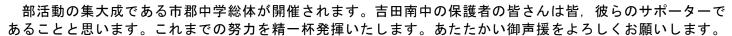
吉田南中だより

令和5年5月31日 鹿児島市立吉田南中学校

6月の主な行事

6 月									
日	曜	行 事 内 容	日	曜	行 事 内 容				
1	木	上級学校説明会 (3年)	14	水	市中体連総体二日目				
2	金	PTA評議員会・学校運営協議会	15	木	市中体連総体三日目				
6	火	全校朝会 (総体激励式)	20	火	学級専門部会・PTA理事会				
7	水	1・3年生耳鼻科検診	26	月	期末テスト一日目				
8	木	全学年進路学習	27	火	1年集金日 期末テストニ日目				
9	金	学年朝会	28	水	2年集金日 期末テスト三日目				
10	土	土曜授業・スクールドリームプラン	29	木	3年集金日・生徒朝会				
13	火	市中体連総体一日目	30	金	授業参観・PTA・学校保健委員会				

想いを込めて、全力を出し切ろう!<市郡中学校総合体育大会> 🔻



種目	日程	会場	種目	日程	会場
野球	6/14~	吉田グラウンド 市民球場	女子バレー	6/13~	桜島体育館 西原商会アリーナ
サッカー	6/13~	郡山総合運動公園 ふれあいスポーツランド	ソフトテニス	6/13~	東開コート
男子バスケ	6/13~	郡山体育館	水泳	6/15~	鴨池プール
女子バスケ	6/13~	吉田文化体育センター 市民体育館			

校外体験活動 <学年別行事(1・2年生)>

1年生は吉野での集団宿泊学習。中学校で初めての仲間とともに、ハイキングをしたり長田中と共にキャンプファイヤーをしたりして友情を深めました。がまんの大切さと不便を楽しむという体験でした。飯ごう炊飯やテント張り、いい経験でしたね。









2年生は長崎・福岡へ。長崎では 平和学習を行いました。二日目福岡 では科学館見学ののち、野球観戦で 盛り上がりました。最終日は熊本グ リーンランドでのアトラクションを 楽しみました。帰校後,平和学習の 発表会も行われました。

校外体験活動 <学年別行事(3年生)>

3年生は、3日間のトライワーク(職場体験学習)を実施しました。校区内外の複数の事業所において職業体験をしました。働くことの厳しさや楽しさを感じることができました。

生徒一人一人はそれぞれ自らの「思い」を大切にしつつ、他者の「思い」も尊重しながら、「人」としての自分の生き方を高め続けた活動となりました。保護者の皆さん、送迎等の御協力をありがとうございました。





法に基づくいじめの認知

5月16日(火)の全校朝会で、生徒に法に基づくいじめの定義について話をしました。

① 「いじめ防止対策推進法」で定義するいじめの定義(第2条)

この法律において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該 児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為 (インターネットを通じ て行われるもの含む。) であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

② 「けんか」、「プロレスごっこ」、「意図しない場面」

社会通念上のいじめとは乖離(かいり)した行為である「ごく初期段階のいじめ(けんか、ふざけあい、プロレスごっこ)」、「好意から行ったが意図せずに相手を傷付けた場合」であっても、学校におけるいじめ防止等の対策の組織で共有し、上記の定義に照らし合わせた上で、「いじめ」かどうかを判断することが必要です。

さらに、「いじめの防止等のための基本的な方針」には、軽微なものでも兆候 を把握した際、組織的に対応するように示されています。



【プロレスごっこで「いじめ」の可能性も】

③ 以下に、「いじめ」かどうかを判断する際の留意点を示します。

- ア 1回限りの行為でも、上記の定義に該当すれば「いじめ」である。継続性や反復性は問題ではない。
- イ 「相手が深刻な苦痛を感じている」などの陰湿さや被害の軽重の程度によって「いじめ」かどうかを 判断するものではない。重大事態は、軽微と捉えがちな行為が積み重なって起きることが多いので注意 が必要である。
- ウ 加害者の意図や故意によるものに関わらず、「いじめ」はいつでもどこでも起こる可能性がある。
- エ 「いじめ」は、「一定の人間関係」の中で起こる。それは、人間関係の「優位、劣位」により起こる ものではない。

布の一袋 壺中の天地を笑う可し

天草に出かけた際に、ある所でタイトルのような文字をみつけました。

どういう意味だろうかと友人と思いをめぐらしたのですが、なかなか想像ができず、やはり頼りになったのは鞄の中のスマホでした。

この句の作者は、江戸時代中期の俳人で尾張(名古屋)の横井也有という方でした。現代風に言うと、「風呂敷や布の袋はどんな形のものでも包めるが、壺やお盆などは形が決まっているので、はみでたり詰められないものがある、つまり



こだわりが強すぎたり融通がきかないこと」を指摘しているのではないかということでした。

私たちの周りには、大切にし続けないといけないこともありますが、こだわりすぎても問題があります。私たちの仕事に当てはめると、昔、受けた教育や指導、自分の経験にこだわることなく、柔軟な発想を持ち続けることが大切ですよと教えてくれる句でありました。

ちなみに、横井也有さんの有名な俳句には「怪物(幽霊)の正体見たり、枯れ尾花」があります。 怖がっていて、前に進めない私を笑っている句であります。

校長 塚元 宏雄